

海外人材を活用した海外事業展開と 海外人材育成による経営の現地化セミナー

- ・急増する技能実習生、入管法改正による2019年4月からの外国人労働者受入など、国内外を問わず海外人材の活用や海外人材との共存は日本企業にとって喫急の課題の一つとなっています。
- ・第1部では、近畿大学の古沢教授より、日本本社で採用・育成したベトナム人正社員をベトナム現地法人の社長に起用するとともに、ベトナム人技能実習生を低コスト労働力ではなく、ベトナム事業展開とリンクさせて育成・活用するなど、現地化を通して着実な成果をあげている関西の中小企業の事例をもとに、海外進出先での経営の現地化の必要性、有意性、また国境を越えた人材の育成や活用について説明いたします。
- ・第2部では、AOTS関西研修センターの多賀館長より、現地化を進める際に鍵となる現地中核人材育成のための日本政府補助事業を活用した人材育成制度（日本で行う受入研修・現地で行う専門家派遣）の概要をご紹介します。また制度利用企業の方から、実際の活用事例をご紹介します。
- ・セミナーの最後に研修センター内を見学し、各企業での実地研修（技術研修）の前にAOTSで実施される日本語等の導入研修の様子や各国の研修生が宿泊する関西研修センターの施設をご覧ください。予定です。

【日時】 2019年5月15日（水）
13:30～16:30（開場13:00）

【場所】 **AOTS関西研修センター**
（大阪市住吉区浅香1-7-5 / 地下鉄御堂筋線「あびこ駅」4番出口
もしくはJR阪和線「杉本町駅」東口よりそれぞれ徒歩約10分）

【費用】 無料

【申込方法】 下欄「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAX
大阪投資育成のHP (<https://www.sbic-wj.co.jp/allseminar/>) から
お申し込みいただけます。（当日受付にてお名刺を頂戴いたします。）

<プログラム>

- ① 海外人材を活用した海外事業展開と経営現地化
- ② 現地人材育成を支援するための受入研修・専門家派遣制度の概要
- ③ AOTSの受入研修・専門家派遣制度活用事例紹介（制度活用企業より）
- ④ 研修施設・導入研修見学

講師：古沢 昌之 氏（近畿大学 経営学部 経営学科 教授）

（財）関西生産性本部業務課長、大阪商業大学総合経営学部教授等を経て、2017年から現職。博士（経営学）、専門は国際人的資源管理論、国際経営論。国際ビジネス研究会理事、多国籍企業学会理事、異文化経営学会理事・関西部会長、AOTS関西研修センター運営委員会委員、㈱ダイヘン社外監査役も務める。

講師：多賀 寿江 氏（一般財団法人 海外産業人材育成協会（AOTS） 関西研修センター 館長）

1990年財団法人海外技術者研修協会(AOTS)入職。企業経営、工場管理等に関する国内外の研修プログラムを企画・実施する研修コーディネーター、研修G長、経営戦略G長、事業統括部長、EPA事業部長等を経て2019年4月より現職。

一般財団法人 海外産業人材育成協会（AOTS）

AOTSは、主に開発途上国の産業人材を対象とした研修および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。海外の企業等の技術や管理者等を日本に招聘して行う「受入研修」と日本から専門家を派遣してOJTによる技術指導を行う「専門家派遣」事業等を行っています。

FAX (06) 6459-1703 (番号違いにご注意ください)

※受付書の送付をご希望の場合は、下記チェック欄にチェックをお願いします。

当該参加申込の情報は本フォーラム講師機関と共有利用いたします。また、申込された方には出席・欠席を問わず講師機関より後日ご連絡させていただく場合がございます。

【大阪開催】「海外人材を活用した海外事業展開と海外人材育成による経営現地化セミナー」(2019/5/15) 申込書

会社名	TEL	
所在地 〒	FAX	受付書のFAXを希望する <input type="checkbox"/>
部署 役職	フリガナ 受講者氏名 (E-mail)	

☆お問い合わせは、大阪中小企業投資育成株式会社 セミナー事務局 / 谷井 TEL: 06-6459-1700
〒530-6128 大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル28階